

報告

『自然ふれあい講座』を行いました

本年度も「自然ふれあい講座」を10回計画しました。これまでそのうち8回行いましたが、ここでは最初の5回の様子について、お知らせします。

第1回 ナラ枯れ跡地の植生を調べる（飯山市） 参加者 26名



植物標本の作成方法を学ぶ

主な内容

- 6月27日（土）9:30～15:00 担当：前河 正昭・永井 茂富
 場所；高源院とその裏山（飯山市戸狩）
 ◎裏山の森林を観察しました（山林利用の歴史の説明・ナラ枯れ跡地等）。
 ナラ枯れ跡地では、暖温帯性のクロムジとともに様々な広葉樹が更新しつつありました。ニセアカシア・ニワウルシなどの外来種も侵入していました。
 ◎採集した植物を用いて植物標本の作製方法を学びました。

第2回 霧ヶ峰のニッコウキスゲとシカ 参加者 15名



野外での観察と説明

主な内容

- 7月5日（日）10:00～15:00 担当：尾関 雅章・岸元 良輔
 場所；霧ヶ峰（自然保護センター周辺）
 ◎ニッコウキスゲに残るシカの食痕や、シカ防除柵周辺の様子を観察しました。
 ◎ニッコウキスゲのシカによる被食状況について環境保全研究所が実施してきた調査結果を報告し、霧ヶ峰の植生保全について意見交換を行いました。

第3回 浅間山系の高山植物とチョウ（湯の丸高原） 参加者 23名



烏帽子岳山頂付近での観察

主な内容

- 7月20日（月・祝）8:00～14:00 担当：須賀 丈・富樫 均
 場所；湯の丸高原（地蔵峠～烏帽子岳）
 ◎登山道を歩きながら植物や昆虫を観察し、保護をめぐる問題を説明しました。観察したのは、植物（ハクサンチドリ・ハクサンフウロ他）と昆虫（ヒメマルハナバチ・クロヒカゲ・フタスジチョウ・コヒョウモンモドキ他）などでした。
 ◎火山の成立時期や地形の成因、植生分布とのかかわりなどを解説しました。

第4回 浅川の魚しらべ（長野市） 参加者 14名



捕まえた生き物の説明

主な内容

- 8月1日（土）9:00～12:00 担当：北野 聡・須賀 丈
 場所；浅川（長野市古里）
 ◎川の生き物（たも網で川虫と魚、投網や釣りて魚）を捕まえました。
 ◎川虫から川の水質を判定しました。
 川のなかには多様な生物が生息していることを実感してもらい、それらの生物が住むために必要な環境条件などについて考えていただきました。

第5回 実感！CO₂のおもさ（夏編）～あなたが減らせるCO₂（松本市） 参加者 12名



省エネについて意見交換

主な内容

- 8月8日（土）10:00～12:00 担当：浜田 崇・畑中健一郎・陸 斉
 場所；あがたの森文化会館（松本市東）
 ◎地球温暖化の主な原因であるCO₂を重さで実感してもらいました。CO₂クイズや省エネグッズを体験しました。
 ◎家庭ごとの電気・ガス・灯油・ガソリン等の使用量からCO₂排出量を計算し、削減メニューカードとバーコードを使って、各々の省エネ計画を作りました。

☆参加方法・問い合わせ

参加の申込み、お問い合わせは、環境保全研究所飯綱庁舎までお気軽にどうぞ（電話：026-239-1031）